

穂高広域施設組合新ごみ処理施設整備・運営事業に係る令和3年度
事後調査報告書の概要について

4 穂高広域施設組合新ごみ処理施設整備・運営事業

(1) 事業の概要

① 事業者	穂高広域施設組合
② 事業実施区域	安曇野市
③ 事業の内容	廃棄物焼却施設の建設
④ 事業の規模	処理能力 120 t / 日
⑤ 条例該当	第1種事業：ごみ焼却施設（処理能力4 t / 時（96 t / 日）以上）
⑥ 関係地域	松本市、安曇野市及び池田町

(2) 事業の経過

H27. 12	環境影響評価方法書公告
H29. 9	環境影響評価準備書公告
H30. 2	環境影響評価書公告
H31. 3	対象事業着手報告書提出
R 3. 4	対象事業完了報告書提出（完了年月日：R3. 2. 28）

(3) 事後調査報告書の概要

○ 令和3年3月から供用開始。令和3年度は、存在・供用時における大気質、騒音、振動、低周波音、悪臭、水象、土壌汚染、植物、動物、景観の調査を実施。計画した事後調査は令和3年度で全て終了。

○ 大気質

調査項目※1	調査地点	予測結果との比較	環境保全目標
二酸化硫黄	対象事業実施区域周辺2地点	下回った	満足した
二酸化窒素		下回った	満足した
浮遊粒子状物質		上回った※2	満足した
ダイオキシン類		下回った	満足した
塩化水素		下回った	満足した
水銀	対象事業実施区域周辺1地点	下回った	満足した

※1 そのほかに一酸化窒素、地上気象を調査。

※2 短期高濃度の場合。風向から、焼却施設の排ガスの影響ではないと考えられる。

○ 騒音

調査項目	調査地点	予測結果との比較	環境保全目標
特定騒音	西側敷地境界	上回った（昼間）※3	満足した
	南東側敷地境界	上回った（昼夜）※4	
総合騒音	対象事業実施区域周辺1地点	下回った	満足した

※3 施設西側の道路交通騒音の影響と考えられる。

※4 南東側に隣接する不燃物処理施設への搬入・搬出に伴う音が要因と考えられる。

○ 振動

調査項目	調査地点	予測結果との比較	環境保全目標
特定振動	西側敷地境界	下回った	満足した
	南東側敷地境界		
総合振動	対象事業実施区域周辺1地点	下回った	満足した

○ 低周波音

調査項目	調査地点	予測結果との比較	環境保全目標
低周波音	敷地境界2地点	同等か下回った	満足した
	対象事業実施区域周辺1地点		

○ 悪臭

- ・煙突排出ガスについて、臭気指数は2地点中1地点で予測結果をわずかに上回ったが、刈草の臭いと判断され、焼却施設の稼働に伴う影響は見られなかった。
- ・施設からの悪臭の漏洩について、悪臭物質は定量下限未満であった。臭気指数は予測結果を下回った。悪臭物質と臭気指数のいずれも環境保全の目標を満足した。

○ 水象

- ・対象事業実施区域内1地点において地下水位を連続観測。水位の変動は、まとまった降水による上昇と緩やかな低下によるものであり、施設の存在・供用による影響は見られなかった。

○ 土壌汚染

調査項目	調査地点	予測結果との比較	環境保全目標
土壌中の ダイオキシン類	穂高クリーンセンター 南西側	下回った	満足した
	穂高クリーンセンター 東側	上回った※5	

※5 バックグラウンドとしての現況濃度の違いや、以前に農地に使用されていた除草剤によるものと考えられる。

○ 植物

調査項目	事後調査・環境保全措置の内容	調査結果等
アオガヤツリ	播種・草刈り・生育状況の確認	対象事業実施区域内の緑地において播種、草刈り及び生育状況の確認を行った。生長がやや悪く草丈が低い上、バッタの食害が見られたが、開花・結実を確認した。

○ 動物

調査項目	事後調査計画	調査結果等
ハヤブサ	生息状況調査	13回の調査で10回確認されたが、対象事業実施区域周辺の利用はほとんどなく、近くの通過が1例見られたのみ。繁殖には至らなかった。 対象事業実施区域から離れた場所での狩りや、高圧鉄塔等での滞在、摂食行動が見られており、周辺地域を含めた生息状況に大きな変化はないと判断。
コウフオカモノアラガイ	生息状況調査	オカモノアラガイ類について、対象事業実施区域内で生貝4個体及び死貝多数、対象事業実施区域外で生貝25個体以上を確認。個体数が多く、面積も広いことから、事業による個体群への影響はほとんどないと判断。

※事後調査の項目ではないが、オオタカの確認頻度が高かったことから調査を実施。R3年5月まで繁殖行動が見られたが、ヒナは確認できず、繁殖中断と考えられる。R4年2、3月の調査では、繁殖の兆候は見られていない。

○ 景観

- ・景観資源及び構成要素、主要な景観について、夏季及び冬季に6地点で調査を実施。
- ・施設建屋が予測条件よりも小さく収まり、配色や形状を旧焼却施設と類似させていることから、予測結果と比較して違和感が少なくなっており、環境保全目標を満足したと評価。旧施設の解体後は、いずれの調査地点からの景観も、新施設の建設前と大差ないと考えられる。